



かみかわの歴史・発見 !!

第39回 石造物紹介③ 庚申塔

問合せ 生涯学習課 文化財担当 ☎ / FAX 0274- 52- 2586

石造物紹介の3回目は庚申塔です。庚申塔は、石造物の中でもよく見かけるものです。

庚申信仰は中国の道教に由来するもので、干支の庚申にあたる日に行われる信仰行事です。人間の体の中には三尸さんしという虫がいました。その虫は夜、人が眠っている間に天に昇り、天帝にその人の行った悪事を告げ寿命を縮めると考えられていました。人々は寿命が縮むのを恐れて悪い行いをしないように努めましたが、それは難しいことです。人々は、「三尸が天に昇るのは眠っている間なのだから、眠らなければよいのだ」と考えました。しかし、一人で起きているのは大変なことです。そのため仲間同士で集まり、話をしたり飲食をしたりしながら夜通し起きていました。この行事を『庚申待ち』、その仲間を『庚申講』といいました。何年か庚申待ちを続けた人々は、その記念や供養、将来の安楽祈願のために庚申塔を立てたのです。

庚申信仰が日本に伝わったのは奈良時代の終わり頃で、庶民に広まり大流行するのは江戸時代に入ってからのことです。

庚申塔には、本尊とされる青面金剛しょうめんこんこうを刻んだ像塔と、『庚申供養』『庚申塔』などの文字を刻んだ文字塔があります。



庚申塔 (大字下阿久原)

第4回本庄早稲田の杜地域連携展覧会 弥生時代の児玉・深谷地域



日程 1月10日(水)~3月24日(日)

場所 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 2階情報資料室

開館時間 午前9時~午後4時30分 休館日は月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)

費用 無料

※詳細は本庄早稲田の杜ミュージアムホームページをご確認ください。

問合せ 〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011 本庄早稲田の杜ミュージアム

☎ 0495-71-6878



本庄早稲田のミュージアムホームページ

神川町からは令和3年に神川町指定文化財となった「平遺跡再葬墓出土土器」(大字下阿久原)を展示します。児玉・深谷地域の弥生時代の出土品が大集合します!



平遺跡再葬墓出土土器

町長年頭挨拶



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より町政に対するご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

世界では「ロシアによるウクライナ侵攻」や「パレスチナ問題」などの紛争が続いていますが、早く平和な世界が訪れてほしいと思います。国内では、急速に進む人口減少・少子高齢化やデジタル化、価値観の多様化など、社会が大きな変化を迎えています。また、物価高騰や災害への不安も高まっています。

町ではこれらに対応するため、「総合計画」を基本に、一つひとつの課題に向き合い行政を運営しています。中でも、「子育て支援」や「健康長寿」「町民参加」などの分野に力を入れています。町の昨年を振り返りますと、多目的交流施設敷地内の神泉総合支所庁舎が完成し、3月28日開庁式を行い新たに業務を開始しました。

これまでの業務に加え、支所管内の観光に関することや林業振興、地籍調査等の業務を移管し、総合支所の機能強化を図りました。また、朝日バスの延伸とともに、ステラ神泉の機能を移転したことで、体操やダンス、演奏会、各種イベントでの利用など、地域の皆様の交流の場としての役割にも大きく期待しています。

そのような中、5月には、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行され、各地に賑わいが戻ってきました。10月には3大イベントである町民体育祭、コスモまつり、冬桜まつりが関係者皆様のご協力のもと再開され、多くの皆様にご好評をいただきました。徐々にはあります。地域コミュニティの再生を実感しております。

様々な課題がある中で、今後とも持続可能な活力ある未来を築くため、

「スピード感ある事業執行」や「事業効果の検証・見直し」「町民の皆様が何を求めているか」「町が発展するために真に必要な事業の選択」などに視点を置き、行政運営を進めます。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

結びに、本年の干支は「辰年」です。龍が天に昇るような勢いで、笑顔の輪が広がることを願ってやみません。本年が町民の皆様にとって素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



神川町長 櫻澤 晃